

家庭科

教科の重点目標 食生活の基本的・基礎的な知識と技能の習得をし、生活に活かせる能力の育成を図る

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第2学年	<p>◎考える力を育てる観点 多くの設問を設け、繰り返し指導をしているので、自ら考えて解答を出すことができている。 調理実習においては、基本を身につけて、個々の技能・能力に応じて熱心に取り組んでいる。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる観点 繰り返し、細部にあって説明をしているので、理解力が高い。</p> <p>◎生徒による授業評価からの観点 多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。</p> <p>◎学力調査などから見られる課題 試験結果から、多くの生徒が意欲的にかつ積極的に取り組み良い結果を出している。</p>	<p>プリント等を用いて、授業毎に振り返りをさせて、次の授業へ繋げられる指導をして行く。 より一層丁寧な説明や設問を多く取り入れ、意欲的に取り組める内容を導入して行く。 包丁テストや調理実習を実施し、技術の向上を図り、食生活への興味・感心を高めさせる内容を取り入れる。</p> <p>包丁テストや調理実習を実施し、技術の向上を図り、食生活への興味・感心を高めさせる内容を取り入れる。 今まで以上に一人ひとり、より多くの目と時間をかけて、自分に自信を持たせる指導をして行く。 達成感を持たせられる教材を多く取り入れた指導をして行く。</p> <p>今後、どの生徒も、熱心に集中して取り組める様な教材を開発して行き、意欲を高めることを目指す。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。</p> <p>今後も意欲的に学習に取り組める内容を導入して行く。 繰り返しの指導をして、理解を深めさせ、技能を向上させて行く。</p>	<p>多くの資料を生徒に与えるとともに、生徒自らが、資料を適切に選択できるような指導をして行く。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。 食育であるので、家庭を巻き込んで協力してもらう内容を導入する。</p> <p>包丁テストや調理実習を実施し、技術の向上を図り、食生活への興味・感心を高めさせる内容を取り入れる。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。 今まで以上に一人ひとりより多くの目と時間をかけて、指導に当たって行く。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。</p> <p>一人ひとり、より多くの目と時間をかけて指導に当たって行く。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。</p> <p>献立作成と家庭での実習に、各家庭が協力的であるので、一層協力を求めてゆく。 今まで以上に一人ひとり、より多くの目と時間をかけて指導に当たって行く。 班学習を通じて、班員や級友への理解を深めさせ、思いやりや協力心、優しさ等人としての心の育成を図る指導をして行く。</p>	

